概　要

本庄市

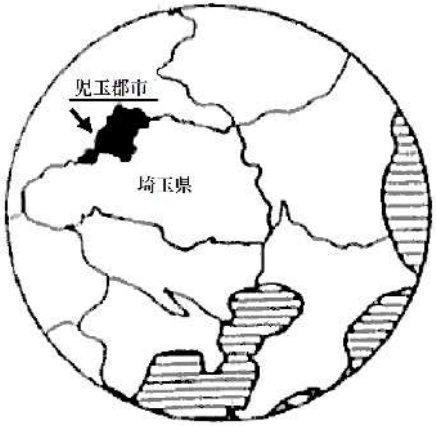
上里町



美里町

神川町

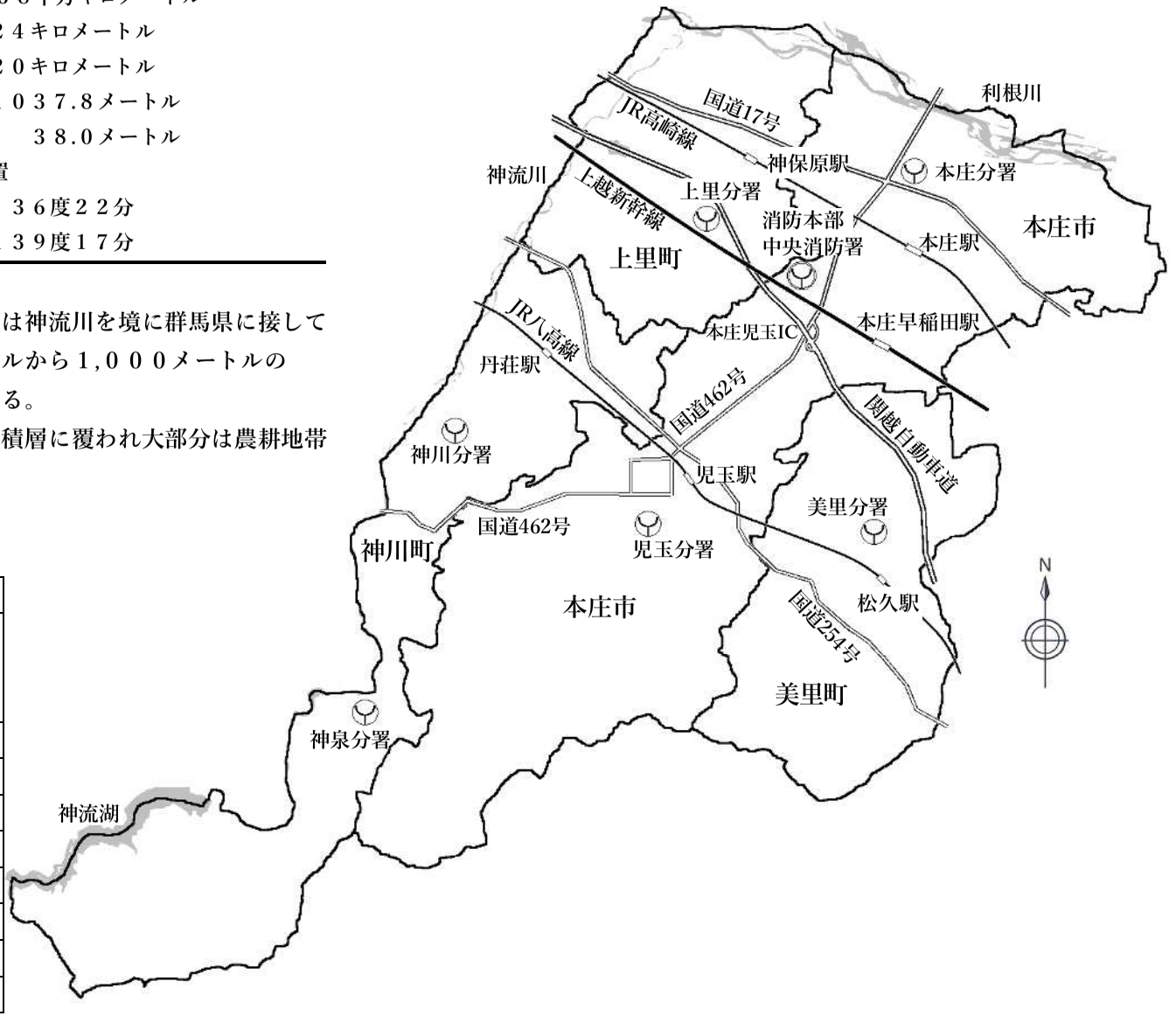
位　置　と　地　勢



面積		１９９.６８平方キロメートル
区域	東西	２４キロメートル
	南北	２０キロメートル
海抜	最高	１０３７.８メートル
	最低	３８.０メートル
消防本部庁舎位置		
	北緯	３６度２２分
	東経	１３９度１７分

児玉郡市は、埼玉県の西北端に位置し、北は利根川、西は神流川を境に群馬県に接している。南西の秩父市及び秩父郡境には、標高５００メートルから1,０００メートルの山々が連なり、林野面積は管内面積の約２５％を占めている。

地質は、児玉扇状地の洪積台地上ほぼ全域にわたり、沖積層に覆われ大部分は農耕地帯となっている。



消防本部・署の所在地等

名称	所在地		電話番号	FAX
消防本部	本庄市西富田 904-3	総務課	0495(24)0119	0495(24)8393
		警防課	0495(24)8391	
		予防課	0495(24)8392	
		指令課	0495(24)1119	0495(24)8394
中央消防署	本庄市西富田 904-3		0495(24)8395	0495(24)8396
本庄分署	本庄市 224		0495(21)2177	同左
児玉分署	本庄市児玉町長沖 290-1		0495(72)1581	同左
美里分署	美里町大字木部 323-5		0495(76)1190	同左
神川分署	神川町大字新里 396-1		0495(77)2086	同左
神泉分署	神川町大字下阿久原 879-12		0274(52)3409	同左
上里分署	上里町大字七本木 295		0495(33)0442	同左

沿　　革

昭和４８年　３月　本庄市、美里村、児玉町、神川村、神泉村、上里町の1市2町3村により
児玉郡市広域消防本部を設立　　条例定数190名
４月　1本部1署1分署職員数120名で業務開始、消防長設楽明稔氏就任
消防力　普通ポンプ自動車　3台
水槽付消防ポンプ自動車　2台
化学消防ポンプ自動車　1台
救急自動車　3台
指令車　2台
自動二輪車　3台
計　14台
５月　職員8名採用　　実員128名　　条例定数190名
７月　本庄南分署、美里出張所、神川出張所、上里出張所の各庁舎が竣工し、業務開始
８月　埼玉県共済農業協同組合連合会から、救急車（トヨタRH18V）が寄贈され、上里出張所へ配置
連絡車（日産スカイライン）2台購入、本庄南分署、児玉分署へ配置
救急車（日産VE20）2台購入、美里出張所、神川出張所へ配置
１２月　神泉出張所庁舎が竣工し、業務開始
昭和４９年　１月　職員1名採用　　実員124名　　条例定数190名
２月　水槽付消防ポンプ自動車（日産FS780）を5台購入、本庄南分署、美里出張所、神川出張所、神泉出張所、上里出張所へ配置
はしご付消防ポンプ自動車32m（三菱T911N）購入、本庄南分署へ配置
４月　職員22名採用　　実員148名　　条例定数190名
消防の外郭団体「本庄市危険物安全協会」を「本庄地区危険物安全協会」と名称変更
１２月　水槽付消防ポンプ自動車（トヨタFC100）購入、児玉分署へ配置
昭和５０年　１月　救助器具運搬車（日産VE20）購入、本庄消防署へ配置
４月　高圧ガス製造所を本庄南分署敷地内に設置
５月　指令車（ダットサンブルーバード）購入、消防本部へ配置
１１月　水槽付消防ポンプ自動車（いすゞSBR320）購入、本庄消防署へ配置
昭和５１年　５月　消防長設楽明稔氏退任に伴い、加藤傳一氏就任
連絡車（ダットサンブルーバード）購入、本庄消防署へ配置
昭和５２年　４月　指令車（トヨペットコロナ）購入、消防本部へ配置
１０月　普通ポンプ自動車（いすゞTLD44）購入、児玉分署へ配置
昭和５３年　３月　連絡車（トヨタカローラ）2台購入、美里出張所、上里出張所へ配置
４月　職員2名採用　　実員144名　　条例定数190名
連絡車（トヨタカローラ）購入、神川出張所へ配置
１０月　普通ポンプ自動車（いすゞTLD44）購入、本庄南分署へ配置
昭和５４年　３月　救急車（トヨタH－RH42VB）購入、児玉分署へ配置
連絡車（トヨタカローラ）購入、神泉出張所へ配置
４月　職員10名採用　　実員154名　　条例定数190名
昭和５５年　１月　普通ポンプ自動車（いすゞTLD44）購入、本庄消防署へ配置
３月　救急車（日産J－HPE21）購入、本庄消防署へ配置
４月　職員5名採用　　実員158名　　条例定数190名
消防指令センターが竣工し、業務開始
５月　連絡車（トヨペットコロナ）購入、本庄消防署へ配置
昭和５６年　２月　日本損害保険協会から救急車（トヨタJ－RH45VB）が寄贈され、本庄南分署へ配置

救急車（トヨタJ－RH45VB）購入、神泉出張所へ配置
１０月　消防長加藤傳一氏退任に伴い、小山忠夫氏就任
昭和５８年　２月　救急車（トヨタL－YH71VB）購入、上里出張所へ配置
４月　職員4名採用　　実員161名　　条例定数190名
１２月　化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（いすゞK－SDR370）購入、本庄消防署へ 配置
昭和５９年　２月　救急車（トヨタL－YH71VB）購入、美里出張所へ配置
４月　消防本部（総務課・予防課）広域総合センターへ移転
職員3名採用　　実員163名　　条例定数190名
昭和６０年　３月　水槽付消防ポンプ自動車（いすゞP－FRR12D）購入、上里出張所へ配置
救急車（トヨタL－YH71VB）購入、神川出張所へ配置
４月　職員4名採用　　実員164名　　条例定数190名
上里出張所を分署昇格
１１月　指令車（トヨタカローラ）購入、消防本部（警防課）へ配置
昭和６１年　１月　消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型（三菱P－FE114B）購入、上里分署へ配置
４月　消防長小山忠夫氏退任に伴い、根岸三朗氏就任
防災指導車（スバルトライ）購入、消防本部（予防課）へ配置
５月　庁用車（日産ブルーバード）購入、消防本部（総務課）へ配置
昭和６２年　１月　水槽付消防ポンプ自動車（三菱P－FK416E）購入、神川出張所へ配置
５月　消防の外郭団体　本庄地区危険物安全協会を児玉郡市防火安全協会と名称変更
７月　連絡車（トヨタカローラ）購入、児玉分署へ配置
１２月　救助工作車（日野P-GD172BA）購入、本庄消防署へ配置
水槽付消防ポンプ自動車（いすゞP－FRR12DAV）購入、美里出張所へ配置
昭和６３年　４月　美里出張所、神川出張所、神泉出張所、分署昇格
７月　連絡車（トヨタカローラ）購入、本庄南分署へ配置
１２月　水槽付消防ポンプ自動車（三菱P－FK417E）購入、本庄消防署へ配置
水槽付消防ポンプ自動車（日野P－FD171BA）購入、神泉分署へ配置
平成 元 年　４月　消防本部（警防課）広域総合センターへ移転
６月　指令車（トヨタカローラ）2台購入、消防本部（予防課）へ配置
平成 2 年　３月　水槽付消防ポンプ自動車（いすゞP－FRR12DAVF）購入、児玉分署へ配置
消防長根岸三朗氏退任に伴い、門倉初彦氏就任
４月　職員4名採用　　実員165名　　条例定数190名
９月　連絡車（トヨタカローラ）購入、上里分署へ配置
１１月　救急車（トヨタT－R2H132S）購入、本庄消防署へ配置
平成 3 年　２月　高圧ガス製造設備YS－55型に更新
３月　本庄南分署消防緊急通信指令施設導入に伴う増改築工事
４月　警防課指令係を指令課に昇格
資材搬送車（いすゞP－NHR54E）本庄消防署へ配置
職員2名採用　　実員167名　　条例定数190名
平成 4 年　３月　消防緊急通信指令施設Ⅱ型竣工
４月　職員5名採用　　実員171名　　条例定数190名
９月　連絡車（ホンダアクティ）購入、消防本部（指令課）へ配置
１０月　連絡車（日産ADバン）購入、美里分署へ配置
平成 5 年　１月　消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型（いすゞU－NKS58G）購入、児玉分署へ配置
４月　職員7名採用　　実員172名　　条例定数190名
６月　応急処置拡大に伴う資器材を購入救急車6台に積載
７月　日本消防協会から救急車（いすゞファーゴ）が寄贈され、児玉分署へ配置
８月　連絡車（日産ADワゴン）購入、本庄消防署へ配置
１２月　消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型（三菱Ⅴ－FE337B）購入、本庄南分署へ配置

平成 ６ 年　１月　エーザイ㈱から指令車（日産ADワゴン）が寄贈され、消防本部（予防課）へ配置
　　４月　職員5名採用　　実員177名　　条例定数190名
平成 ７ 年　１月　消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型（三菱U－FE538B）購入、本庄消防署へ配置
　　１２月　神川町役場から庁用車（トヨタE－MS137）が寄贈され、消防本部（総務課）へ配置
平成 ８ 年　２月　はしご付消防自動車30m級（日野KC－PR4FPDE）購入、本庄南分署へ配置
　　４月　職員4名採用　　実員181名　　条例定数190名
平成 ９ 年　１月　高規格救急自動車（いすゞKC－NPR71LV）購入、本庄消防署へ配置
　　３月　彩の国レスキュー隊発足に伴い、救助工作車Ⅲ型（日野KC－FTIJHBA）購入、本庄消防署へ配置
　　４月　消防長門倉初彦氏退任に伴い、小島正男氏就任
　　職員4名採用　　実員183名　　条例定数190名
平成１０年　１月　救急車（トヨタCK－KZH138S）購入、神泉分署へ配置
　　３月　消防救助技術訓練場　竣工
　　４月　職員7名採用　　実員189名　　条例定数203名
平成１１年　２月　高規格救急自動車（トヨタGB－VCH32S）購入、児玉分署へ配置
　　４月　救急車（トヨタGA－RZH32S）購入、上里分署へ配置
　　職員7名採用　　実員195名　　条例定数203名
平成１２年　３月　化学消防ポンプ自動車（日野KK－GDIGJDA）購入、本庄南分署へ配置
　　水槽付消防ポンプ自動車（日野KK－FDIGEDA）購入、上里分署へ配置
　　４月　職員3名採用　　実員196名　　条例定数203名
平成１３年　１月　救急車（トヨタGE－VCH22S）購入、美里分署へ配置
　　救急車（トヨタGE－VCH22S）購入、神川分署へ配置
　　４月　職員4名採用　　実員197名　　条例定数203名
　　１０月　指令車(日産ウイングロード）購入、消防本部（警防課）へ配置
平成１４年　１月　水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－A型（日野KK－FD1JEDA改）購入、神川分署へ配置
　　消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型（いすゞNKR71GN改）購入、上里分署へ配置
　　４月　消防長小島正男氏退任に伴い、川田博享氏就任
　　職員7名採用　　実員197名　　条例定数203名
　　７月　庁用車(日産セフィーロGF－A33)購入、消防本部（総務課）へ配置
　　児玉町から庁用車(日産セドリックE－Y31)が寄贈され、消防本部（総務課）へ配置
　　９月　高規格救急自動車（トヨタKC－PR4FPDF）購入 、本庄南分署へ配置
平成１５年　４月　職員4名採用　　実員199名　　条例定数203名
　　７月　連絡車（日産ウイングロード）購入、児玉分署へ配置
　　１０月　資器材搬送車（KR－NPR72LR）購入、本庄南分署へ配置
平成１６年　１月　災害対応水槽付消防ポンプ自動車I－A型（日野KK－FD1JEDA改）購入、本庄消防署へ配置
　　４月　職員3名採用　　実員199名　　条例定数203名
　　防災指導車（スバルサンバーバン）購入、消防本部（指令課）へ配置
　　８月　指令車（トヨタカローラフィールダー）購入、消防本部（予防課）へ配置
　　１２月　災害対応水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－A型（日野PB－FD7JEFA改）購入、美里分署へ配置
平成１７年　４月　職員4名採用　　実員199名　　条例定数203名
　　９月　児玉郡市防火安全協会から指令車（日産UA－NT30）が寄贈され、消防本部（予防課）へ配置
　　１１月　資器材搬送車積載コンテナ購入、本庄南分署へ配置
平成１８年　１月　神川町と神泉村が合併し神川町となり、本庄市と児玉町が合併し本庄市となる
　　水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－A型（日野ADG－FD7JEWA改）購入、児玉分署及び神泉分署へ配置

３月　連絡車（スバルサンバーバン）購入、本庄南分署へ配置
４月　児玉郡市防火安全協会から車両（日産UA－NT30）が寄贈され、本庄消防署の指揮車として配置
１２月　災害対応特殊救急自動車（トヨタCBF－TRH226S）購入、本庄南分署へ配置
平成１９年　３月　連絡車（スバルサンバーバン）購入、神川分署へ配置
４月　消防長川田博享氏退任に伴い、久保田文雄氏就任
職員6名採用　　実員197名　　条例定数203名
平成２０年　２月　消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型（いすゞBDG－NMS85AN）購入、児玉分署へ配置
３月　高規格救急自動車（トヨタCBF－TRH221S）購入、上里分署へ配置
防災指導車（スバルサンバーバン）購入、予防課へ配置
連絡車（スバルサンバーバン）購入、上里分署へ配置
水上オートバイ（ヤマハMJ－VX DX）購入、本庄消防署へ配置
４月　消防長久保田文雄氏退任に伴い、岡芹喜行氏就任
職員16名採用　　実員201名　　条例定数203名
平成２１年　２月　消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型（いすゞBDG－NMR85N）購入、本庄南分署へ配置
３月　指令車（日産ウイングロード）購入、消防本部（予防課）へ配置
４月　消防長岡芹喜行氏退任に伴い、今井菊雄氏就任
職員13名採用　　実員199名　　条例定数203名
８月　連絡車（日産キャラバン）購入、本庄消防署へ配置
平成２２年　２月　高規格救急自動車（トヨタCBF－TRH221S）購入、児玉分署へ配置
３月　高機能消防指令センター竣工
４月　消防長今井菊雄氏退任に伴い、西巻一夫氏就任
職員20名採用　　実員200名　　条例定数203名
１０月　連絡車（スバルサンバーバン）購入、美里分署へ配置
１２月　高規格救急自動車（トヨタCBF－TRH221S）購入、美里分署へ配置
消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型（いすゞBKG－NMR85N）購入、本庄消防署へ配置
平成２３年　４月　消防長西巻一夫氏退任に伴い、坂本喜久夫氏就任
職員11名採用　　実員199名　　条例定数203名
１０月　連絡車（スバルサンバーバン）購入、指令課へ配置
平成２４年　３月　高規格救急自動車（トヨタCBF－TRH221S）購入、神川分署へ配置
救助工作車Ⅱ型（日野SDG－GX7JGAA）購入、本庄消防署へ配置
４月　消防長坂本喜久夫氏退任に伴い、金井眞澄氏就任
職員11名採用　　実員200名　　条例定数203名
１１月　庁用車（日産セレナハイブリッド）購入、消防本部（総務課）へ配置
高規格救急自動車（日産CBF－FPGE50改）購入、本庄消防署へ配置
平成２５年　４月　消防長金井眞澄氏退任に伴い、岡芹文一氏就任
職員10名採用　　実員203名　　条例定数203名
９月　連絡車（スバルサンバーバン）購入、神泉分署へ配置
１２月　高規格救急自動車（日産CBF－FPWGE50改）購入、神泉分署へ配置
平成２６年　４月　消防長岡芹文一氏退任に伴い、金子健一氏就任
職員7名採用　　実員206名　　条例定数229名
平成２７年　１月　新消防本部・消防署庁舎竣工（本庄市西富田904番地3）
２月　消防・救急デジタル無線運用開始
３月　化学消防ポンプ自動車（日野SDG－GD7JGAA改）購入、本庄南分署へ配置
災害対応水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-B型（日野SDG－GX7JGAA改）購入、上里分署へ配置
４月　消防本部・中央消防署新庁舎業務開始　本庄消防署は本庄分署へ変更、本庄南分署を廃止

消防長金子健一氏退任に伴い、中野和夫氏就任
職員12名採用　　実員202名　　条例定数229名
１０月　児玉郡市防火安全協会から庁用車（トヨタアクア）が寄贈され、消防本部（予防課）へ配置
１２月　はしご付消防自動車30m級（日野QDG－PR1APEF）購入、中央消防署へ配置
平成２８年　４月　消防長中野和夫氏退任に伴い、中野三千雄氏就任
職員7名採用　　実員205名　　条例定数229名
１１月　日本消防協会から連絡車（三菱デリカ）が寄贈され、消防本部（警防課）へ配置
１２月　災害対応特殊救急自動車（トヨタCBF－TRH226S）購入、中央消防署へ配置
平成２９年　２月　災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－B型（日野SDG－GX7JGAA改）購入、神川分署へ配置
３月　消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型（日野TKG－XZU640M）購入、上里分署へ配置
４月　職員4名採用　　実員209名　　条例定数229名
６月　児玉分署新庁舎が竣工し、業務開始（本庄市児玉町長沖290番地1）
１０月　高規格救急自動車（トヨタCBF－TRH226S）購入、上里分署へ配置
平成３０年　１月　水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（日野2DG－FE2ABA）購入、児玉分署へ配置
３月　連絡車（日産クリッパー）購入、児玉分署へ配置
４月　消防長中野三千雄氏退任に伴い、矢島淑彦氏就任
職員4名採用　　実員207名　　条例定数229名
５月　本庄分署新庁舎が竣工し、業務開始（本庄市224番地）
平成３１年　３月　災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車水Ⅰ－B型（日野2PG-FSS90S2改）購入、本庄分署へ配置
４月　職員3名採用　　実員209名　　条例定数229名
令和 元 年　７月　庁用車（ホンダフィットDAA-GP5）購入、消防本部（総務課）へ配置
９月　水上オートバイ（カワサキSTX-15F）購入、中央消防署へ配置
１１月　高規格救急自動車（トヨタCBF－TRH226S）購入、本庄分署へ配置
高規格救急自動車（トヨタCBF－TRH226S）購入、児玉分署へ配置
令和 ２ 年　４月　消防長矢島淑彦氏退任に伴い、鈴木健一氏就任
職員6名採用　　実員215名　　条例定数229名
８月　連絡車（日産クリッパー）購入、消防本部（予防課）へ配置
消防緊急通信指令施設部分更新工事
１１月　高規格救急自動車（トヨタ3BF-TRH226S）購入、美里分署へ配置
１２月　消防ポンプ自動車（CAFS装置付）CD－Ⅰ型（日野2KG－XZU685M）購入、美里分署へ配置
令和 ３ 年　３月　ＮＥＴ１１９緊急通報システム導入
４月　消防長鈴木健一氏退任に伴い、飯田俊一氏就任
職員7名採用　　実員214名　　条例定数229名
１２月　消防ポンプ自動車（CAFS装置付）CD－Ⅰ型（日野2KG－XZU685M）購入、神川分署へ配置
令和 ４ 年　１月　連絡車（ダイハツハイゼットカーゴ）購入、本庄分署へ配備
３月　高規格救急自動車（トヨタ3BF-TRH226S）購入、中央消防署へ配置
高規格救急自動車（トヨタ3BF-TRH226S）購入、神川分署へ配置
４月　消防長飯田俊一氏退任に伴い、立石博敏氏就任
職員8名採用　　実員216名　　条例定数229名
令和 ５ 年　３月　連絡車（スズキジムニー）購入、神川分署へ配置
４月　職員4名採用　　実員214名　　条例定数229名
９月　消防ポンプ自動車（CAFS装置付）CD－Ⅰ型（日野2KG－XZU685M）購入、児玉分署へ配置

１１月　高規格救急自動車（トヨタ3BF-TRH226S）購入、神泉分署へ配置
令和 ６ 年　２月　連絡車（日産NV100クリッパー）購入、上里分署へ配備
４月　消防長立石博敏氏退任に伴い、野沢充氏就任
職員5名採用　　実員217名　　条例定数229名
７月　連絡車（スズキエブリイ）購入、中央消防署へ配置
１１月　消防ポンプ自動車（CAFS装置付）CD－Ⅰ型（日野2DG－XZU685M）購入、中央消防署へ配置
令和 ７ 年　３月　連絡車（スズキジムニー）購入、神泉分署へ配置
４月　職員6名採用　　実員217名　　条例定数229名
消防本部公式アカウント開設、SNS運用開始
９月　水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－B型（いすゞ2PG－FSS90J4）購入、神泉分署へ配置
令和 ８ 年　３月　指揮車（トヨタ3BF-TRH226S）及び連絡車（マツダCX-5）購入、中央消防署へ配置
４月　消防長野沢充氏退任に伴い、久保賢一氏就任
職員7名採用　　実員217名　　条例定数229名
公民連携（共創）事業開始

構 成 市 町 の 概 要

令和8年4月1日現在
（住民基本台帳による）

市　町　名	人　口（人）	世　帯　数（世帯）	面　積（㎢）
本　庄　市	75,953	36,936	89.69
美　里　町	10,541	4,644	33.41
神　川　町	12,617	6,006	47.40
上　里　町	30,265	13,894	29.18
合　　計	129,376	61,480	199.68

消 防 庁 舎 の 現 況

令和8年4月1日現在

署　別	構　造	敷地面積（㎡）	面　積	
			建（㎡）	延（㎡）
消防本部 中央消防署	鉄筋コンクリート造平屋建	15,801.04	2,861.73	2,721.02
本　庄　分　署	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	2,800.64	624.05	873.04
児　玉　分　署	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	2,528.97	718.91	998.12
美　里　分　署	鉄筋コンクリート造2階建	790.68	188.85	335.19
神　川　分　署	鉄筋コンクリート造2階建	1,034.92	188.85	335.19
神　泉　分　署	鉄筋コンクリート造2階建	280.82	150.91	265.97
上　里　分　署	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,422.00	256.12	398.52